平成 28 年度第 1 回企画委員会議事録

日　時：平成 28 年 7 月 6 日（水） 13:30～17:00
場　所：電力中央研究所 大手町本部 第 2 打合室
出席者：吉田（委員長）、浅田、稲垣、川島、桧垣、伊知地（幹事）、反町（幹事）

【議題】
1. 平成 27 年度第 4 回企画委員会議事録確認
2. 企画委員会委員の役割分担
3. 日本保健物理学会シンポジウム「執筆者の解説による ICRP Publ.勉強会」実施報告
4. 論文紹介の進行状況
5. 保物セミナー2016 企画案
6. 新 Newsletter 関連
   6.1 新 Newsletter 班活動報告
   6.2 新 Newsletter への広告掲載について
7. 専門研究会報告
   7.1 水晶体の線量限度に関する専門研究会
   7.2 福島第一原子力発電事故後における放射線防護上の教訓に関する専門研究会
   7.3 低線量・低線量率リスク推定法専門研究会
   7.4 原子力防災における体外計測の経験の総括と課題に関する専門研究会
8. 今後の企画行事等の検討
   8.1 標準化委員会と水晶体専門研究会シンポジウム
   8.2 原子力防災における体外計測専門研究会シンポジウムと体外計測専門研究会報告会の同日開催
   8.3 福島関係シンポジウム
   8.4 IRPA14
   8.5 その他
9. その他

【配布資料】
資料 1-1　平成 27 年度第 4 回企画委員会　議事メモ
資料 1-2　平成 27 年度第 4 回企画委員会　議事録
資料 2-1　役割分担（案）
資料 2-2　委員会等運営に関する規則（改定版）
資料 3-1　日本保健物理学会シンポジウム「執筆者の解説による ICRP Publ.勉強会」実施報告
資料 3-2　日本保健物理学会シンポジウム「執筆者の解説による ICRP Publ.勉強会」アンケート結果
資料 4-1　論文紹介原稿の執筆・編集手引き
資料 4-2　これまで新 Newsletter で掲載された論文リスト
資料 5-1　保物セミナー2016 プログラム（計画案）
資料 5-2　保物セミナー2016 案内
資料 5-3　保物セミナー過去 5 年間のテーマ
資料 6-1-1　新 Newsletter 案作成分担（案）
資料 6-1-2　新 Newsletter 記事ネタ捜索分担（案）

資料 6-2-1　新 Newsletter への広告掲載について
資料 7-1-1　水晶体の線量限度に関する専門研究会活動報告
資料 7-2-1　福島第一原子力発電所事故後における放射線防護上の教訓に関する専門研究会活動報告
資料 7-3-1　低線量・低線量率リスク推定法専門研究会活動報告
資料 7-4-1　原子力防災における体外計測の経験の総括と課題に関する専門研究会活動報告
資料 8-1-1　日本保健物理学会企画シンポジウム（案）
資料 8-1-2　標準化委員会企画セッション案
資料 8-5-1　理事会にて決定した事業計画書

【議事】

1. 平成 27 年度第 4 回企画委員会議事録確認（資料 1-1、1-2）
   ・前回委員会議事メモ及び議事録を確認し、承認した。

2. 企画委員会委員の役割分担（資料 2-1、2-2）
   ・3 名の委員の入れ替えがあったため、委員の役割分担を確認した。
   ・委員会等運営に関する規則を用いて、企画委員会の権限について確認を行った。

3. 日本保健物理学会シンポジウム「執筆者の解説による ICRP Publ.勉強会」実施報告（資料 3-1、3-2）
   ・2016 年 4 月 25 日に実施された日本保健物理学会シンポジウムの実施報告とアンケート結果報告があった。

4. 論文紹介の進行状況（資料 4-1、4-2）
   ・論文紹介の現状とその運営方法に関する説明があった。

5. 保物セミナー2016 企画案（資料 5-1～5-3）
   ・保物セミナー2016 における企画案の経緯について説明があった。
   ・企画案は放射線管理における防護量と実用量に関するテーマとした。

6. 新 Newsletter 関係（資料 6-1-1、6-1-2、6-2-1）
   6.1 新 Newsletter 班活動報告
   ・これまでの活動報告及び委員の入れ替えに伴う役割分担の確認があった。
   6.2 新 Newsletter への広告掲載について
   ・会誌の電子化に向けた取り組みとして、新 Newsletter への広告掲載に関する説明があった。現状では、企画委員会だけで対応することは極めて困難であるとの見解で一致した。

7. 専門研究会報告（資料 7-1-1～7-4-1）
   7.1 水晶体の線量限度に関する専門研究会
   ・これまでの活動報告があった。

   7.2 福島第一原子力発電所事故後における放射線防護上の教訓に関する専門研究会
   ・これまでの活動報告があった。

7.3 低線量・低線量率リスク推定法専門研究会
・これまでの活動報告があった。
・次回に開催される研究会（2016 年 9 月予定）を企画委員会行事とリンクさせるための検討を行う。

7.4 原子力防災における体外計測の経験の総括と課題に関する専門研究会
・これまでの活動報告があった。

8. 今後の企画行事等の検討（資料 8-1-1、8-1-2、8-5-1）
8.1 標準化委員会と水晶体専門研究会シンポジウム
・シンポジウムの開催が 2016 年 11 月 28 日（月）に決定し、講演内容等の議論を行った。

8.2 原子力防災における体外計測専門研究会シンポジウムと体外計測専門研究会報告会の同日開催
・日程や演題等に関して、開催に向けた議論を行った。

8.3 福島関係シンポジウム
・福島関連シンポジウムの企画案についての議論があり、今後理事会と協議することになった。

8.4 IRPA14
・2016 年 5 月に南アフリカ・ケープタウンで開催された IRPA14 の参加報告があった。
・本会会員の参加人数が少なかったことから、企画行事として開催することが難しいこととなった。

8.5 その他
・企画委員会に関連した、理事会において決定した事業計画の説明があった。

9. その他

・次回はスカイプ会議により開催される。